

西彼農業農場だより

バナナがたわわに実りました！！

無加温で越冬 バナナ鈴なり

西彼農高の温室



たわわに実ったバナナ 〓西海市、西彼農業高

西海市西彼町の県立西彼農業高（原口三徳校長、193人）のドーム型温室にあるバナナ3株が、加温なしで栽培しているにもかかわらず越冬し、この時期には珍しく鈴なりの実が付いた。記録的な暖冬の影響とみられ、同校は「思わぬ豊作」と喜んでいる。

バナナはバショウ科の多年草で、竹のように地下茎で増える。温室内でもバナナが植わるエリアは加温しないため、例年なら冬場の

温度は10度以下になり地上部が枯れていた。昨冬は暖かい日が続いたせいも、青々としたまま春を迎えた。昨年11月ごろに咲いた花から、計約450本が実った。

生活デザイン科の生徒が水やりや施肥などを交代で担当している。バナナは5月の大型連休明けにも収穫予定。担当者は「いつもは3年生にだけ配っていたが、今回は豊作で全生徒に行き渡りそう」と話している。

（佐崎智章）